(別紙4(2))

事業所名 さくら悠輪苑

2 目標達成計画

作成日: 平成 30年 5月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入 します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	4点柵の解除	身体拘束をしないケアの実践。転倒、骨折を繰り 返している人への4点柵を解除したい。	4点柵の早急な解除が出来るように職員間で早急に話し合う。目の行き届く場所に居室を変更など。	3ヶ月
2	35	夜間想定の避難訓練ができていなかった。地域 住民への声掛けも不足していたのでやれるように する。	日中と夜間想定の2回避難訓練を実施。地域住民に呼びかけ参加していただく。	運営推進会議において地域住民との連携や協力体制を作れるように話し合っていく。計画的に 夜間想定の訓練を行い、食糧や水などの備蓄を する。	12ヶ月
3	40	職員が食事中に声掛けは出来ているがゆっくり 座る事が出来ていない。	食事中や食後にゆっくりと座って会話を楽しんだり、利用者に寄り添い楽しく食事が出来るように する。	食事中は業務をいったん中断して、椅子に座って利用者さんとの会話をし、食事を楽しんでいただく。	6ヶ月
4					ヶ月
5		日の棚については、立つ部体でものがなまる。1 ててさい			ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。